

ゴンドラを小起因物とする死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2013	4	9 ～ 10	マンションの外壁補修工事現場において、ゴンドラ2基の設置作業中、1基のゴンドラ設置完了後、被災者はもう1基のゴンドラ設置等に使用する資材をゴンドラへ積み込み上昇させたところ、屋上へ到達した際、ゴンドラを固定していた突りょう（支持金物）が外れ、被災者はゴンドラとともに落下した。	30201	1	10 ～ 29
2013	3	16 ～ 17	放散塔（煙突状のもの）の補修工事において、被災者は内部の補強のためにゴンドラに乗り、アーク溶接機を使用してプレートの溶接を行っていたところ、アークの火花が安全帯のショックアブソーバーに引火して着衣に燃え広がり、これに慌てた被災者がゴンドラから約40メートル墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2012	12	12 ～ 13	被災者は同僚3名と共にキュポラのメンテナンス作業の「薪上げ作業」を行うにあたり、高さ約20mまで上昇させたゴンドラの扉から手すり付きステップをおろし、炉頂部に設置されている扉を押し開けて屋上に出ようとしたところ、同扉にかんぬきがかかって開かなかった。その直後、被災者ははずみで体勢を崩し、炉底に墜落した。	11002	1	300 ～
2011	9	13 ～ 14	鉄骨造ビルの新築工事に伴う機械式立体駐車場の設置工事において、被災者ほか1名が、立体駐車場の昇降路内に設置されたゴンドラに搭乗して昇降路の柱を組立てていたところ、ゴンドラの吊元金物の固定ボルトが昇降路天井スラブ下から抜け落ち、高さ約10mのところからゴンドラが落下し、被災者ほか1名がゴンドラと共に墜落した。	30201	1	1～ 9

2007	12	15 ～ 16	6階屋上から仮設デッキ型ゴンドラの搬器に乗り移り、ライフラインに安全帯を掛けようとしたところ、突然ゴンドラのつりワイヤー2本の内の1本のつりワイヤーがつり元から外れゴンドラの搬器が傾き、高さ19.8mから墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2005	10	11 ～ 12	煙突の改修工事で、円形ゴンドラに搭乗し、作業を行っていたところ120mの高さにあったゴンドラから墜落した。	30201	1	1～ 9
2005	3	10 ～ 11	外壁補修工事において可搬式ゴンドラを使用して作業していたところ、ゴンドラが傾き作業者が墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2002	12	8 ～ 9	9階建マンションの外壁等塗装工事において、屋上に設置したゴンドラで塗装作業の準備、養生作業を行っていて、9階でゴンドラから909号室のベランダに移ろうとしたときに、手掛かりにしていたパイプサポートが外れたため墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	10	13 ～ 14	ダムゲート修繕工事の準備作業で、水門上部にチェーンブロックを取付けるためゴンドラの搬器に作業員が乗り、ウインチで水門上部に引き上げたところ、滑車を固定していた台付けワイヤーが滑車のフックから外れたため搬器が約25m下に墜落した。	30302	1	10 ～ 29
1999	4	9 ～ 10	造船工場において、建造中である船舶の上甲板に取り付けられたゴンドラに地上から乗り込み、上昇させていたときに、片方のホイストのフックが作業床の吊りピースから外れたため、高さ約12mのところから地上に墜落した。	11501	1	30 ～ 49

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

[小起因物別の死亡災害事例（1999-2021年）](#)に戻る。

(参考) [労働災害の分類の概要](#)